



マルチサイト オーケストレータを展開

- [デプロイ概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件とガイドライン \(2 ページ\)](#)
- [マルチサイト オーケストレータ アプリケーションの App Store を使用してインストール \(3 ページ\)](#)
- [マルチサイト オーケストレータ アプリケーションの手動インストール \(6 ページ\)](#)

デプロイ概要

リリース 3.2 (1) 以降では、マルチサイト オーケストレータ (MSO) を Cisco Nexus ダッシュボードのアプリケーションとして展開する必要があります。

Cisco Nexus Dashboard は、複数のデータセンターサイト用の中央管理コンソールであり、Nexus Dashboard オーケストレータ や Nexus Dashboard インサイト などのシスコのデータセンターアプリケーションをホストするための共通プラットフォームです。Nexus Dashboard は、これらのマイクロサービスベースのアプリケーションに共通のプラットフォームと最新のテクノロジースタックを提供し、さまざまな最新アプリケーションのライフサイクル管理を簡素化し、これらのアプリケーションを実行および維持するための運用オーバーヘッドを削減します。Cisco Nexus ダッシュボードは、ポリシーとインフラストラクチャのリアルタイム分析、可視性、保証を提供する Cisco Day-2 オペレーションアプリと、複数の Cisco ACI および Cisco DCNM ファブリック。

各 Nexus Dashboard クラスタは、3 つのマスターノードで構成されます。また、最大 4 つのワーカーノードを追加して水平方向のスケーリングを有効にし、最大 2 つのスタンバイノードを使用して、マスターノードに障害が発生した場合にクラスタを簡単に回復できます。

Nexus Dashboard クラスタの初期導入と設定の詳細については、[『Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide』](#) を参照してください。

サイトとユーザーの追加などの Nexus ダッシュボードの使用方法の詳細については、[Cisco Nexus Dashboard User Guide](#) を参照してください。

このドキュメントでは、マルチサイト オーケストレータ アプリケーションの初期インストール要件と手順について説明します。設定および使用例の詳細については、管理するファブリック

クの種類に応じて、『[Cisco Multi-Site Configuration Guide for Cisco ACI](#)』または『[Cisco Multi-Site Configuration Guide for Cisco DCNM](#)』を参照してください。

前提条件とガイドライン

Nexus ダッシュボード

[Cisco Nexus ダッシュボード導入ガイド](#)の説明に従って、Cisco Nexus ダッシュボードを導入し、ファブリック接続を構成する必要があります。

Cisco マルチサイト オーケストレータのこのリリースは、Nexus ダッシュボードの物理アプリケーション クラスタのみでサポートされています。次の表は、Cisco マルチサイト オーケストレータの Nexus ダッシュボードの要件をまとめたものです。

オーケストレータ バージョン	要件
リリース 3.2(1) 以降	Cisco Nexus Dashboard リリース 2.0.1 Nexus ダッシュボード クラスタは、物理アプリケーションとして展開する必要があります。

Nexus ダッシュボードのネットワーク

最初に Nexus ダッシュボードを設定するときは、2つの Nexus ダッシュボード インターフェイスに2つの IP アドレスを指定する必要があります。1つはデータ ネットワークに接続し、もう1つは管理ネットワークに接続します。データ ネットワークは、ノードのクラスタリングおよびシスコ ファブリック トラフィックに使用されます。管理ネットワークは、Cisco Nexus ダッシュボードの GUI、CLI、または API への接続に使用されます。

2つのメジャー インターフェイスは同じサブネットまたは異なるサブネット内に設定できます。また、クラスタ内の異なるノードにまたがる各ネットワークのインターフェイスは、異なるサブネットに属することもできます。

マルチサイトオーケストレータに対して150msを超えないラウンドトリップ時間 (RTT) で、両方のネットワークでノード間の接続が必要です。同じ Nexus ダッシュボード クラスタで実行されている他のアプリケーションでは、RTT 要件が低い場合があるため、[Nexus ダッシュボード ユーザー ガイド](#)または特定のアプリケーションのドキュメントを参照することをお勧めします。

Nexus ダッシュボード オーケストレータ アプリ が Nexus ダッシュボードに展開されると、次の表に示すように2つのネットワークのそれぞれが異なる目的で使用されます。

MSO トラフィック タイプ	Nexus ダッシュボードのネットワーク
任意の送受信トラフィック : <ul style="list-style-type: none"> • Cisco APIC • Cisco DCNM • その他のリモート デバイスまたはコントローラ 	データ ネットワーク
クラスタ間通信	データ ネットワーク
監査ログ ストリーミング (Splunk/syslog)	管理ネットワーク
リモート バックアップ	管理ネットワーク

Nexus Dashboard クラスタのサイジング

Nexusダッシュボードは、アプリケーションの共同ホスティングをサポートします。実行するアプリケーションの種類と数によっては、クラスタに追加のワーカーノードを展開する必要があります。クラスタのサイジング情報と、特定の使用例に基づく推奨ノード数については、『[Cisco Nexus Dashboard Capacity Planning](#)』を参照してください。

Nexus マルチサイト オーケストレータに加えて他のアプリケーションもホストする予定の場合は、クラスタのサイジングツールの推奨事項に基づいて追加のNexusダッシュボードノードを展開して設定します。これについては、『[\[Cisco Nexus ダッシュボードユーザーガイド \(Cisco Nexus Dashboard User Guide\) \]](#)』（Nexus Dashboard GUI から直接入手可能）にも記載されています。

Network Time Protocol (NTP)

Nexus マルチサイト オーケストレータはクロックの同期にNTPを使用するため、環境内でNTPサーバーを設定する必要があります。

マルチサイトオーケストレータ アプリケーションの App Store を使用してインストール

ここでは、Cisco マルチサイト オーケストレータ アプリケーションを既存の Cisco Nexus ダッシュボードクラスタにインストールする方法について説明します。

始める前に

- [前提条件とガイドライン \(2 ページ\)](#) に記載されている要件とガイドラインを満たしていることを確認します。

- Cisco DC App Center は、管理ネットワークを介して直接、またはプロキシ設定を使用して Nexus Dashboard から到達可能である必要があります。Nexus Dashboard のプロキシ設定については、『[Nexus Dashboard User Guide](#)』を参照してください。

DC App Center への接続を確立できない場合は、このセクションをスキップして、[マルチサイトオーケストレータ アプリケーションの手動インストール \(6 ページ\)](#) の手順に従ってください。

- App Store では、アプリケーションの最新バージョンのみをインストールできます。

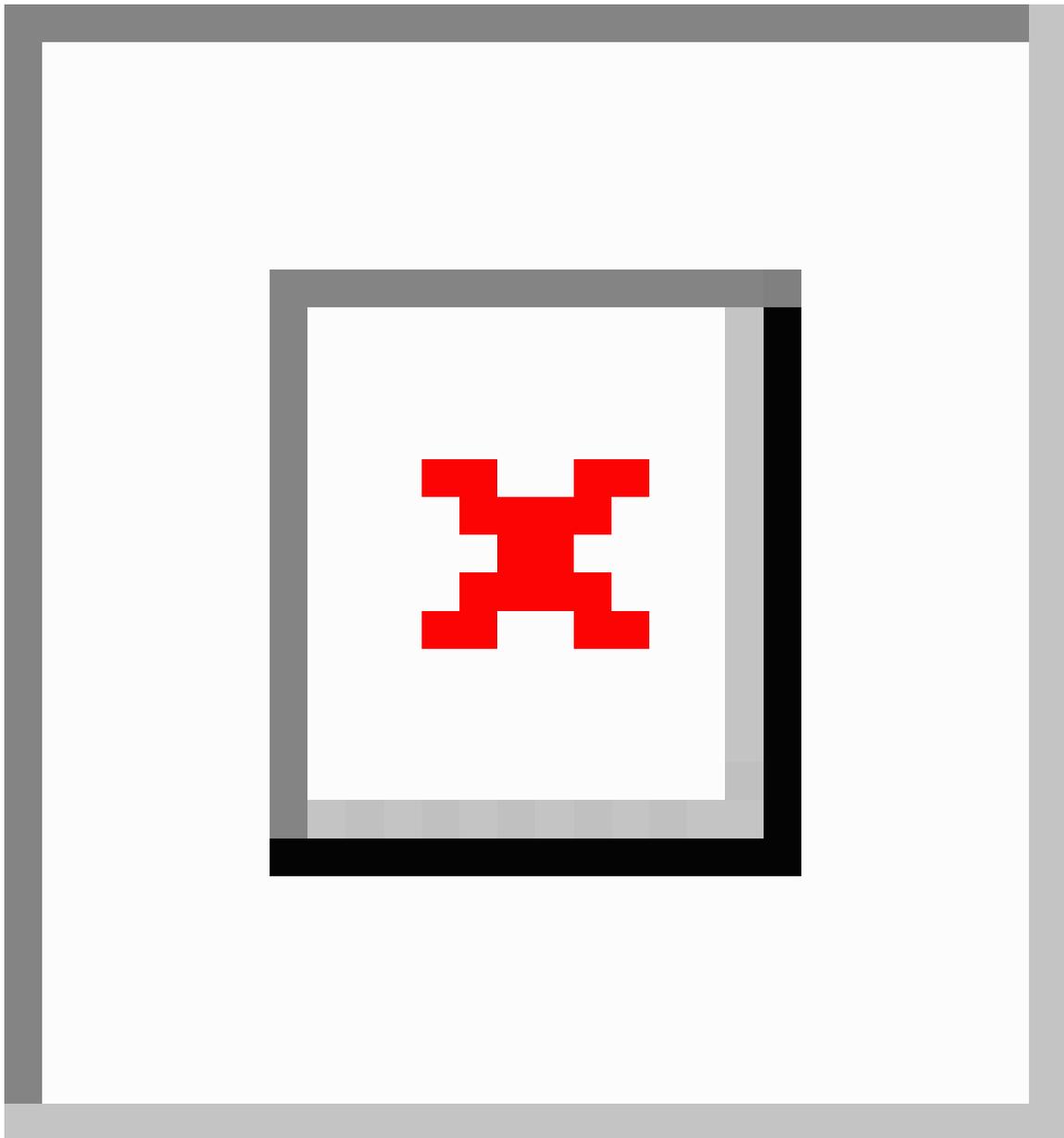
以前のバージョンをインストールする場合は、[マルチサイトオーケストレータ アプリケーションの手動インストール \(6 ページ\)](#) で説明されているようにアプリケーションイメージをダウンロードして、手動で Nexus ダッシュボードにアップロードする必要があります。



-
- (注) Nexus ダッシュボードは、MSO リリース 3.2 (1) 以降のみをサポートします。リリース 3.2 (1) より前のバージョンをインストールする場合は、使用可能な展開オプションと手順について、そのリリースに固有の『[Nexus ダッシュボードオーケストレータインストールガイド \(Nexus Dashboard Orchestrator Installation Guide\)](#)』を参照してください。
-

ステップ 1 Nexus ダッシュボード GUI にログインします。

ステップ 2 App Store に移動し、マルチサイトオーケストレータ アプリを選択します。



- a) 左のナビゲーションメニューから [サービス カタログ (Service Catalog)] を選択します。
- b) [アプリ ストア (App Store)] タブを選択します。
- c) マルチサイト オーケストレータ タイルで、[インストール (Install)] をクリックします。

ステップ 3 開いた [ライセンス契約 (License Agreement)] ウィンドウで、[同意してダウンロード (Agree and Download)] をクリックします。

ステップ 4 アプリケーションが Nexus Dashboard にダウンロードされ、展開されるまで待ちます。

アプリケーションがすべてのノードおよびすべてのサービスに完全に展開されるまでには、最大30分かかります。

ステップ 5 アプリケーションを有効にします。

インストールが完了した後、デフォルトではアプリケーションは [無効 (Disabled)] 状態のままであるため、有効にする必要があります。

アプリを有効にするには、アプリの [...]メニューをクリックし、[有効 (Enable)] を選択します。

ステップ 6 アプリを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus ダッシュボードの [サービスカタログ (Service Catalog)] ページのアプリケーションタイトルで [開く (Open)] をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus ダッシュボードで使用したものと同一クレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

マルチサイトオーケストレータ アプリケーションの手動インストール

ここでは、Cisco マルチサイトオーケストレータアプリケーションを手動で既存の Cisco Nexus ダッシュボードクラスタにアップロードし、インストールする方法について説明します。

始める前に

- [前提条件とガイドライン \(2 ページ\)](#) に記載されている要件とガイドラインを満たしていることを確認します。

ステップ 1 Cisco マルチサイトオーケストレータアプリケーションをダウンロードします。

必要な MSO イメージは、次の 2 つの方法のいずれかでダウンロードできます。

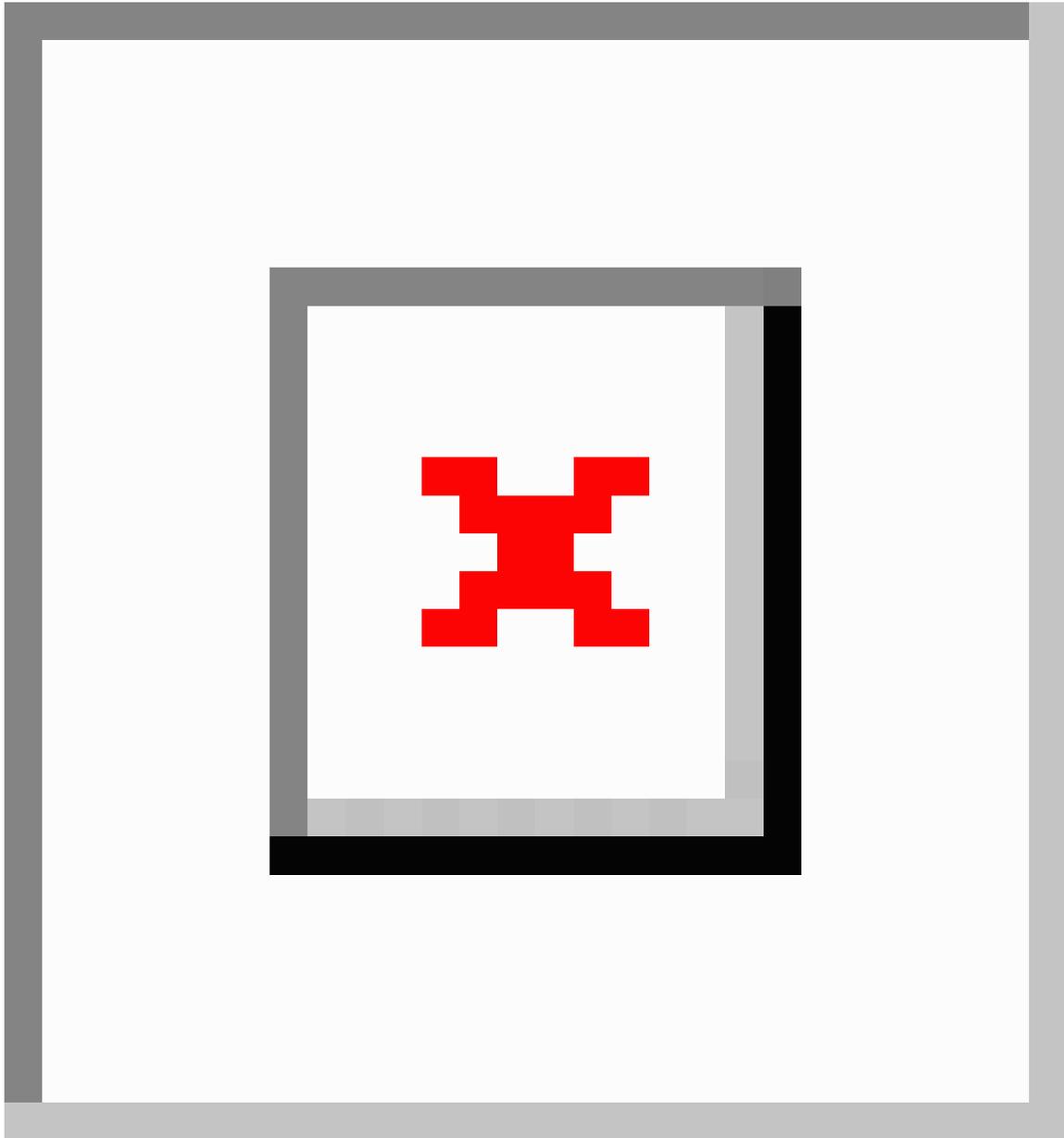
- ソフトウェア ダウンロード ページリンクを参照します：
<https://software.cisco.com/download/home/285968390/type>
- [**マルチサイト ソフトウェア (Multi-Site Software)**] をクリックします。
- 左側のサイドバーから、Cisco マルチサイトオーケストレータ リリースバージョンを選択します。
- マルチサイトアプリのイメージファイル (Cisco-MSO-<version> .aci) をリリースします。

または、Cisco DC App Center からイメージをダウンロードすることもできます：

- マルチサイトオーケストレータアプリケーション ページ DC App Center を参照します：
<https://dcappcenter.cisco.com/multi-site-orchestrator.html>
- [**バージョン (Version)**] ドロップダウンから、Cisco マルチサイトオーケストレータ リリースバージョンを選択します。
- [**ダウンロード (Download)**] ボタンをクリックします。
- [**同意してダウンロード (Agree and download)**] をクリックしてライセンス契約に同意し、イメージをダウンロードします。

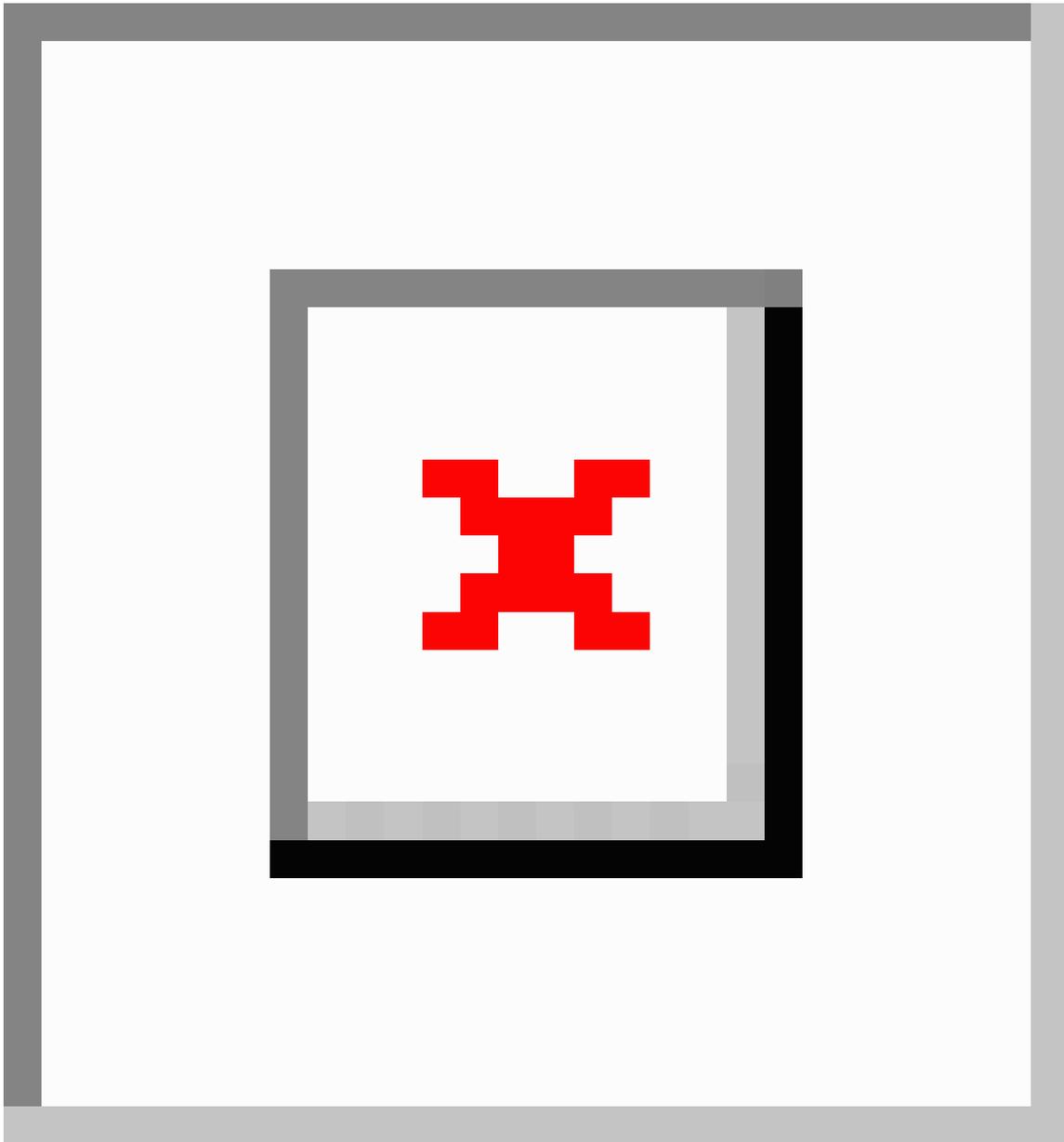
ステップ2 Cisco Nexus Dashboard にログインします。

アプリケーションを展開する場合、Nexusダッシュボードノードの1つだけにインストールしてください。アプリケーションはクラスタ内の他のノードに自動的に複製されます。その際、管理IPアドレスを使用して、Nexusダッシュボードノードのどれにでもログインできます。

ステップ3 アプリケーションイメージをアップロードします。

- 左のナビゲーションバーで、[サービス カタログ (Service Catalog)] をクリックします。
- [インストール済みサービス (Installed Services)] タブをクリックします。
- メインペインの右上にある[アクション (Actions)] > [アプリケーションのアップロード (Upload App)] をクリックします。

ステップ4 Nexus ダッシュボード クラスタにイメージ ファイルをアップロードします。



- a) イメージの場所を選択します。
アプリケーションイメージをシステムにダウンロードした場合は、[ローカル (Local)] を選択します。
サーバでイメージをホストしている場合は、[リモート (Remote)] を選択します。
- b) ファイルを選択します。
前のサブステップで [ローカル (Local)] を選択した場合は、[ファイルの選択 (Select File)] をクリックし、ダウンロードしたアプリケーションイメージを選択します。

[リモート (Remote)] を選択した場合は、イメージファイルのフル URL を指定します。

`http://<ip-address>:<port>/<full-path>/cisco-mso-<version>.aci` のようになります。

c) [アップロード (Upload)] をクリックして、アプリケーションをクラスタに追加します。

ステップ 5 アプリケーションが Nexus Dashboard にダウンロードされ、展開されるまで待ちます。

アプリケーションがすべてのノードおよびすべてのサービスに完全に展開されるまでには、最大30分かかります。

ステップ 6 アプリケーションを有効にします。

インストールが完了した後、デフォルトではアプリケーションは [無効 (Disabled)] 状態のままであるため、有効にする必要があります。

アプリを有効にするには、アプリの [...]メニューをクリックし、[有効 (Enable)] を選択します。

ステップ 7 アプリを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus ダッシュボードの [サービスカタログ (Service Catalog)] ページのアプリケーションタイトルで [開く (Open)] をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus ダッシュボードで使用したものと同一クレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。